

養鶏と共に地域循環型農業へ（静岡市）

R7.9.1 訪問



お名前	Sanagi Shokudo 小川 聡美さん
就農した時期	2021年5月（就農4年目）
栽培品目	多品目の有機野菜 養鶏（鶏卵・鶏肉）
栽培面積	野菜約60a, 養鶏約20a
販路 働き手	直販、マルシェ、農産物直売所 本人・夫



（写真:ご本人提供）

■ 就農したきっかけ

高校生の頃から農業に興味があり、里帰り出産で故郷に戻ったことをきっかけに就農しました。

■ 活用した支援策等

日本政策金融公庫の「青年等就農資金」を活用しました。

■ 就農して苦労したこと

静岡市は傾斜地や、お茶畑の跡地※が多く、耕作条件の良い農地が少なかったことです。

■ 工夫したこと

※お茶畑の跡地は、ほ場が酸性に傾いており、野菜が育ちやすい環境とするためには、土壌改良が必要。

養鶏の飼料として、おからなど地元の未利用資源を活用することで、環境への負荷を抑えた養鶏に取り組んでいます。そして、産卵用の雌鶏を入手する過程で生まれた雄鶏も、食肉用に育成しています。また、鶏糞は野菜の肥料として利用するなど、循環型農業を意識しています。

■ 今後取り組みたいこと

鶏を育て、その命をもらう仕事をしている人として、育てる過程や卵・肉が消費者のみなさんに届くまでの過程を見えるようにすることが、何よりの役割だと考えています。今後、農場を色々な方々に見てもらえるような取組を考えていきたいと思っています。また、環境・人・畜産動物にとって価値のある小規模な地域循環型農業の実践を深めていきたいです。

■ 新規就農を目指す人に伝えたいこと

人とのつながりが生まれると情報が耳に入りやすくなるため、つながりを作ってほしいです。また、初期投資をしっかりとの方が将来の農業経営の安定につながります。